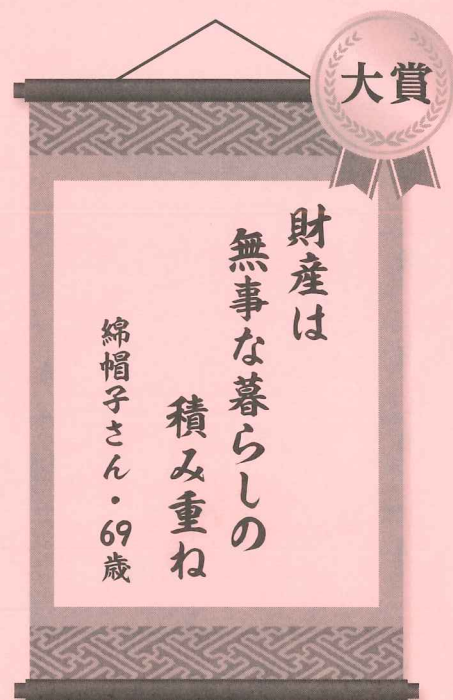


シニアカラオケ 冬 2020 レビュー



右が大賞受賞の小野寺美紀子（綿帽子）さん。左が入選の伊藤 茂さん。



第7回本屋さんの店員さんが選ぶシニア川柳は
北は北海道から南は宮崎県まで、総人数 193 人
461 句の応募がありました。
たくさんのご応募ありがとうございました。
入選作品を発表します !!
(次ページに掲載しています)

一関市シニア活動プラザ

第7回《本屋さんの店員さんが選ぶ》シニア川柳 入選作品

お題「財産」、「期待」

書店員大賞

(敬称略)

住所・お名前	ペンネーム	年齢	作 品
小野寺 美紀子 (一関市)	綿帽子	69	財産は 無事な暮らしの 積み重ね 背景／災害や事件の多い昨今、この年齢まで無事に暮らしてこれたことが、何よりも有難く、財産です。

入選作 (掲載は順不同です)

千 田 康 司 (宮城県)	木立慈雨	58	野望あり 次の元号 まで生きる
安 田 清 一 (千葉県)	安田蝸牛	62	出来悪く 期待せぬ子が 親を見る 背景／末っ子で一番出来が悪いと嘆いた息子だけが、親を見ると申し出てくれた……。
山 下 司 (愛媛県)	かかし	69	財産は お前と生きた 長き日々 背景／妻と出会って数十年が財産です。
逸 見 修 (新潟県)	おーさん	71	老人会 期待の新人 70 歳 背景／どうしてもと期待されて老人会に入ったときのことを詠んだ。
西 村 芳 和 (滋賀県)	しなやかーる	67	老いてなお 我が才能の 開花待つ 背景／人生百年時代、まだまだ磨かなければ。
伊 藤 茂 (一関市)	いとう滋	69	よちよちが 未来を背負う 一升餅
向 原 康 夫 (岡山県)	桃太郎	78	財布持つ 妻が余生の 舵を執る 背景／定年退職すると家計は妻が管理するケースが多くなる。妻が夫婦の主導権を握っているのである。
菅 野 八恵子 (福島県)	やんちゃん	58	財産は あなたがくれた 笑いじわ 背景／主人と結婚して30年になります。波瀾万丈の人生でしたが、増えた笑いじわも今では私の財産です。
八 巻 テル子 (一関市)		93	こつこつと 守った田畑 行き場なし 背景／ないない尽くしの時代を生き、そして今。

講 評

「財産」、「期待」と言うテーマが想像力を阻んだためか、その言葉を直接入れている作品が多いのが気になりました……。

ところが各書店員が五点ずつ選んだ作品の中で全員が、「財産は、無事な暮らしの～」に一位から三位の数字を入れていたのです。

書店員はそれぞれが選んだ作品五点到、一から五の順位を付けて持ち寄って話し合うのですが、この作品はいずれも上位になっていましたので、今回の大賞となりました。

ちなみに大賞の次に多くの票が集まったのは「老いてなお 我が才能の～」と「野望あり 次の元号～」でした。

「終活を せねばならぬかと 本を換で」

六十一歳の書店員

○協賛・一関市書店組合

(一関) 北上書房、阿部書店
(花泉) 金泉堂書房、文進堂書店
(大東) 小原書店、ながの文庫
(千厩) 日野屋本店、ビー・エム・エス
(東山) 和光堂

「社会貢献セミナー」開催しました!!

“知って安心・公証制度”

一関公証役場 吉岡 慶治 さん

令和2年1月23日（木）なのはなプラザ大会議室で、
本年度3回目の「社会貢献セミナー」を開催しました。講師
の一関公証役場（一関市田村町）吉岡慶治公証人から

- 公証人とは
- 遺言とは？
- 公正証書って何？
- 成年後見制度について

等をお話いただきました。

シニア層を中心とした50名を超えるセミナー参加者から
は、「身近な話をわかりやすくお話された」等の感想が寄せ
られ、公証役場に対する理解を深めました。



終活開始のスタート
時点に立てた

事例により少しわかった
ような



公証役場の役割について
よくわかった

参加者アンケートより抜粋

吉岡慶治公証人からのアドバイス【セミナー資料より】

遺言残して争い残さず …… もめることはないけれども万が一のため作成しておくで安心

◆遺言書の必要性チェックリスト

下記事例に一つでもあてはまる人は今すぐ遺言書を作成した方がよい

- | | |
|--|---|
| ☐ 兄弟姉妹の仲が悪い | ☐ 相続させたくない相続人がいる |
| ☐ 子供がいない（養子もいない） | ☐ 相続人がいない |
| ☐ 先妻、後妻ともに子供がいる | ☐ 自営業者や農家である |
| ☐ 内縁の配偶者やその人との間に子供がいる | ☐ 自宅以外に分ける財産がない |
| ☐ 結婚した相手に子供がいる | ☐ 行方不明の相続人がいる |
| ☐ 未成年の子供がいる | ☐ 可愛がっているペットの世話が問題 |
| ☐ 相続人が多い | ☐ 遺産内容を把握している相続人がいない |
| ☐ 面倒をみてくれた嫁がいる | |



【本の紹介】

『達人吉沢久子 老けない生き方、暮らし方』

吉沢 久子 著（主婦の友社刊）

昨年101歳で人生を終えた吉沢久子氏。夫で文芸評論家の古谷綱武氏と1984年に死別してからは一人暮らしを始め、生活評論家として庶民の目線から様々な提言をし続けました。講演活動と並行して書籍もたくさん出版してきましたが、注目を集め出したのは彼女自身が老いに入ってから様々「老いの生き方のエッセイ」です。“人に頼らず自分で生きてゆく”、“自由に自分らしく生活を楽しんで生きる”等、前向きで年を重ねることに勇気を与えてくれる内容の本の数々。たくさん備えてありますのでご利用いただければと思います。



ありがとうございます!!



今年も下記のお二人方から、お手製の正月用門松を提供いただきました

- 佐藤 靖雄 さん
(一関市三関)【右の写真】
- 千葉 良夫 さん
(一関市花泉町：シニア仏像彫刻サークル会長)

おかげさまで華やかに正月を迎えました。



編集後記

◆今年のシニア・フェスタは令和2年2月2日の開催で“2”づくしとなります。◆2020年のオリンピック・パラリンピックにちなみ“シニアーズ”の皆さんは「ボッチャ体験コーナー」を準備、皆さんの反響はいかがでしょう。(光)

□編集・発行 一関市シニア活動プラザ
〒021-0881 一関市大町4番29号
なのはなプラザ3階
TEL 0191-31-8118 FAX 0191-31-8120
HP:www.ichinoseki-shakyo.com/senior
□発行日 令和2年1月

一関市シニア活動プラザは、一関市から一関市社会福祉協議会が事業を受託して運営しております。

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会

〒021-0877 一関市城内1番36号 TEL 0191-23-6020 FAX 0191-23-6024